

# 回転ハンガー

YDH-9000 組み立て説明書

YDH-9000

## お買い上げ頂き誠にありがとうございます。

■当製品に関しまして部品不足等、不都合な点がございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

《お客様相談窓口》

株式会社 山善 〒550-8660 大阪市西区立売堀3-2-5

**0120-069-060** (通話無料のフリーダイヤル)

●受付時間 / 月曜日～金曜日午前9:00～午後5:30 (土・日曜日・祝日はお休みさせていただきます。)

### 【お願い】

- ・組み立て説明書をお手元にご用意の上、お電話ください。
- ・お問い合わせの際、迅速に対応させていただく為、組み立て説明書に明記しております商品名および商品型番をお知らせください。
- ・外装箱(ダンボール)は組み立てが終わるまで保管して頂きますようお願いいたします。
- ・地球環境保護のため、不法投棄はしないでください。

※故障及びお問い合わせは、お買い求めになられました販売店までお申し付けください。

※商品の仕様は予告なく変更される事があります。

### 【組み立て上のご注意】

- ① 組立前に、部材・部品が揃っているか確認し、必要工具等の準備をしてください。
- ② 組立は床に布やカーペットのある場所で行い、商品や床・壁・既存の家具等に傷が入らないようご注意ください。
- ③ 必ず平らな場所で組み立ててください。ねじれ・傾きの原因となります。
- ④ 組立に接着剤を使用する場合は、換気に充分注意し火気のない所で行ってください。
- ⑤ 大型商品につき必ず2人以上で組み立ててください。

### 【設置・点検について】

- ① 完成後、各部のネジ・金具等の締め付けが確実にされているか、再度確認してください。また、設置後も定期的にネジ等の緩みを点検してください。
- ② 製品の設置場所は必ず水平で段差や傾きがなく、床面の強度のしっかりしたキャスターの沈み込みのない場所に設置して下さい。特に畳や比較的柔らかい床面での場合はカーペットや合板などを敷いて強度のある床に設置して下さい。

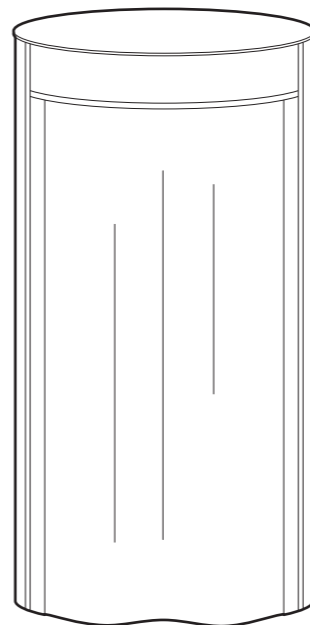
### 【使用上の注意・警告】

- ① 移動時にはキャスターが滑らかに動いているか、全体の傾きがないか、衣類を過大に掛け過ぎていないか等確認の上、両手で支柱を持ちゆっくりと移動させて下さい。特に床面が畳等の柔らかい材質の場合は、荷重でキャスターが沈み込み傾いた状態やフレームの緩みによる傾きの状態で移動させますと倒れてくること危険です。特にご注意下さい。
- ② 衣類の掛け過ぎにご注意下さい。最大収納の目安として掛ける衣類の条件にもよりますが、約40着から約80着・耐荷重として約42kgとなっています。衣類の着数と重量の目安表をご参照下さい。
- ③ ハンガーより衣類を取り外す時は、ゆっくりとハンガーバーから取り外して下さい。ハンガーバーに掛かったまま横に引っ張りますと倒れる場合があります危険です。
- ④ 衣類は全体にバランスよく掛けて下さい。一カ所に片寄って掛けますとバランスを崩し倒れる場合があります危険です。又移動のために衣類をまとめて取る場合も一カ所に片寄って残さないようにして下さい。そのまま移動しますとバランスを崩して倒れる場合があります危険です。
- ⑤ 安定性を保つため、上段には軽い衣類を下段には比較的重い衣類を掛けて下さい。又、片寄せた(右側・左側・前側・後側)吊り方をしないで下さい。倒れて怪我をしたり物を壊す恐れがあります。又回転時には両手で本体フレームを持ちゆっくり回して下さい。

### 【手入れ方法】

- ① カーテン・カバー  
日常のお手入れは、ブラッシングや掃除機で縫い目のホコリ等を取り除いて下さい。コーヒー・酒などで汚した場合は3～5%位に薄めた中性洗剤液(又は石鹼水)を柔らかい布に浸し、軽く絞って表面をたたくように拭き取って下さい。この後、洗剤をよく布で拭き取り自然乾燥して下さい。この場合、シミなどを防ぐため汚れた部分だけでなく、周囲も満遍なく拭いて下さい。著しい汚れを落とす場合は、本体カバーに付いている洗濯表示に従って洗って下さい。
- ② スチールフレーム  
日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きをして下さい。汚れのひどい時は薄めた中性洗剤液を浸した布で汚れを落とし、この後、洗剤分を良く絞った布で拭き取り、乾いた布で綺麗に拭いて下さい。湿気がついたままにしたり、酸性の物が付着したままにしておくと、錆の原因になります。

### 完成図



MADE IN CHINA

### 組み立て上のご注意

#### 換気注意!!

開梱した際、製造時に使用する塗料・接着剤等の臭いがこもっている場合がございますので、組立時、設置直後は部屋の換気を充分にして、取り除くようにして下さい。

#### 品質表示

- 外形寸法 幅1020×奥行1020×高さ2060mm
- 構造部材 金属(スチール)
- 表面加工 粉体塗装
- カバー・カーテン生地 ポリエステル100%
- 製品重量 10.4kg
- 耐荷重量 約42kg
- 掛け着数 約40着から約80着(夏物・冬物)

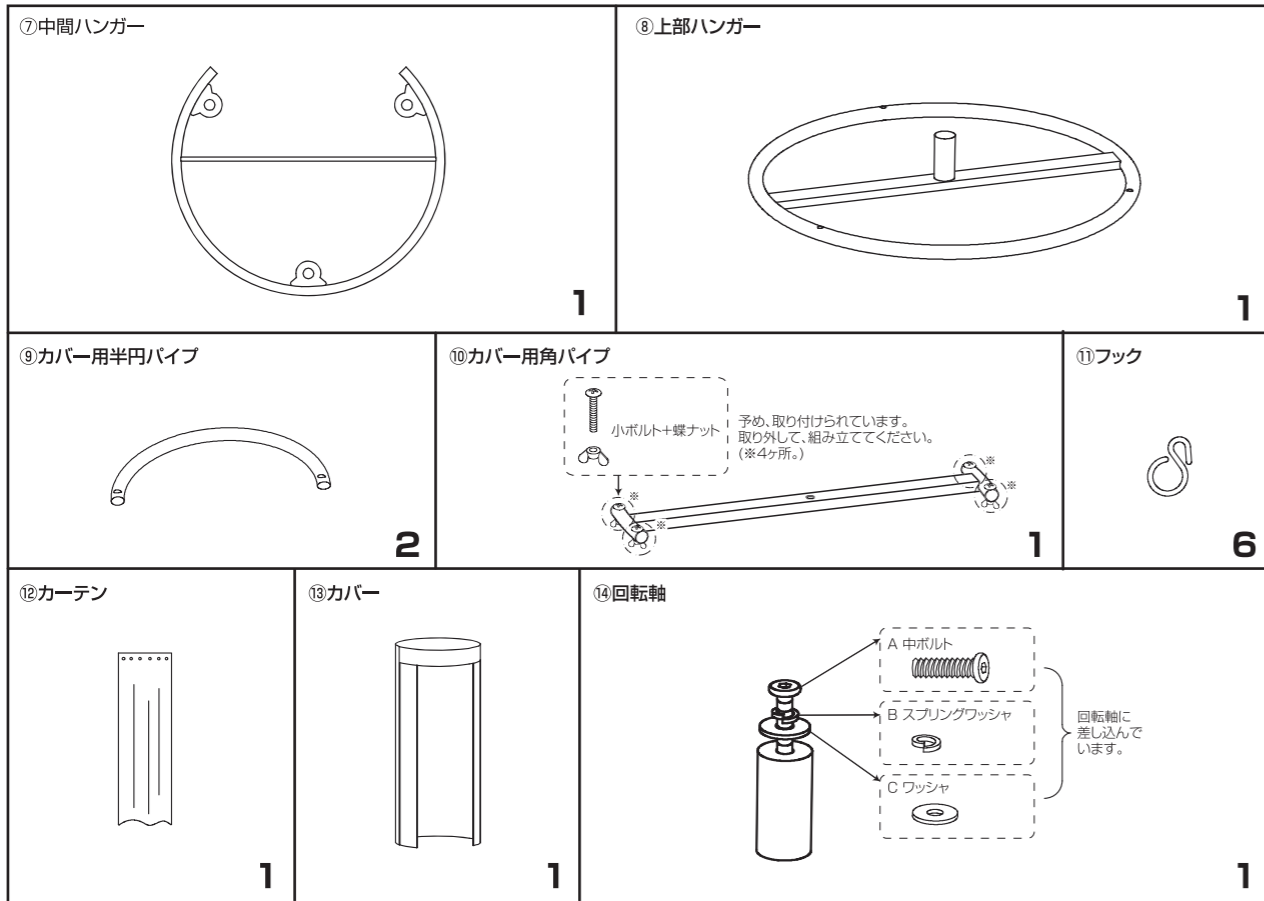
※本商品に物を乗せて動かす際には、十分留意してください。商品の破損につながる恐れがあります。

ハンガーに掛ける衣類の着数と重量の目安表					
衣類の種類	着数	重量(kg)	衣類の種類	着数	重量(kg)
紳士コート	3	2.70	婦人コート	3	1.80
紳士スーツ	6	7.50	婦人スーツ	6	6.00
紳士ジャケット	3	2.49	婦人ジャケット	4	1.84
紳士ブルゾン	2	1.66	婦人ワンピース	4	1.40
紳士ワイシャツ	14	4.20	婦人ブラウス	13	3.38
紳士スラックス	10	5.00	婦人スカート	12	3.84
紳士衣類 小計	38着	23.55kg	婦人衣類 小計	42着	18.26kg
紳士・婦人合計	80着	41.81kg			

## 部品明細

■組み立てる前に部品が揃っている事を御確認ください。

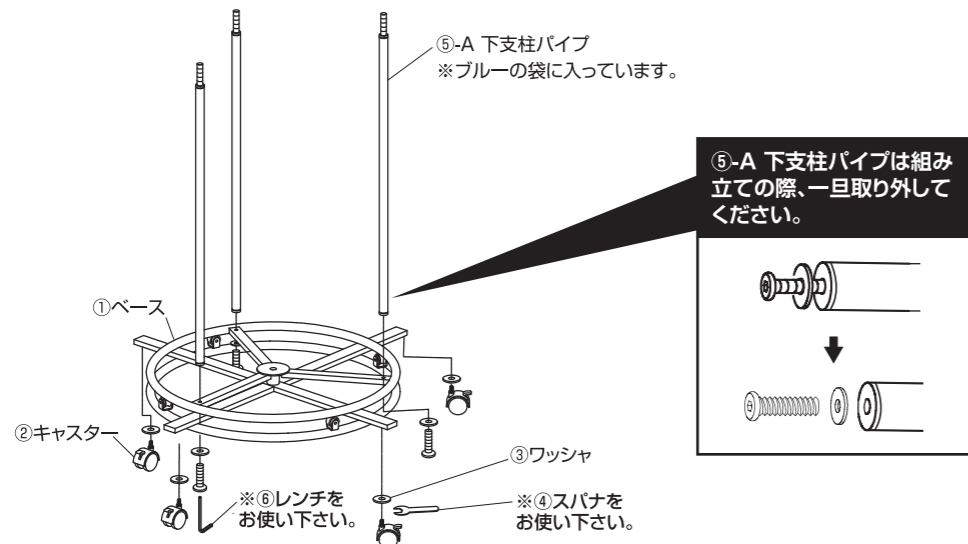
<p>①ベース</p> <p>1</p>	<p>②キャスター</p> <p>(ストッパー付き) ★レバーを下げる(ストッパーを掛ける) ★レバーを上上げる(ストッパーを解除)</p> <p>4</p>	<p>③ワッシャ</p> <p>4</p>	<p>④スパナ</p> <p>1</p>
<p>⑤-A 下支柱パイプ (ブルーの袋に入っている)</p> <p>3</p>	<p>⑤-B 上支柱パイプ (透明の袋に入っている)</p> <p>3</p>	<p>⑥レンチ</p> <p>1</p>	



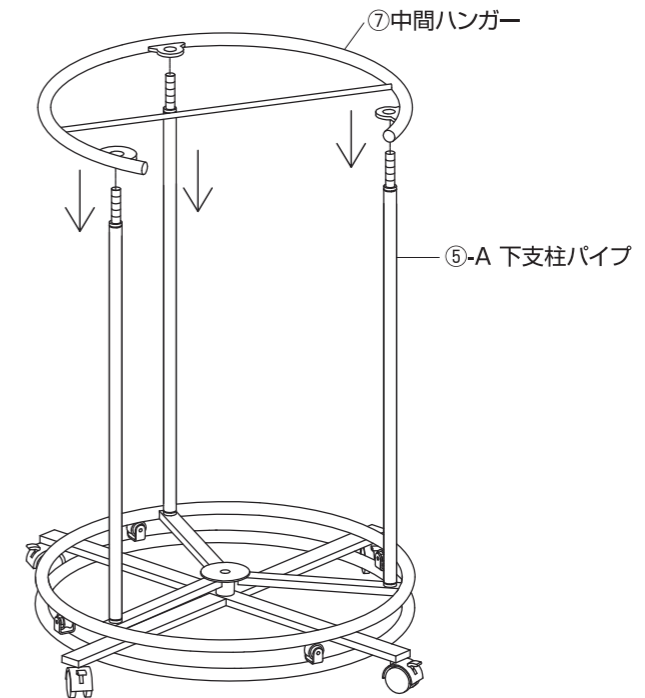
## 組み立て方法

■各締め付け箇所は仮止めし、組み立て完成後に各箇所をしっかりと締め直してください。

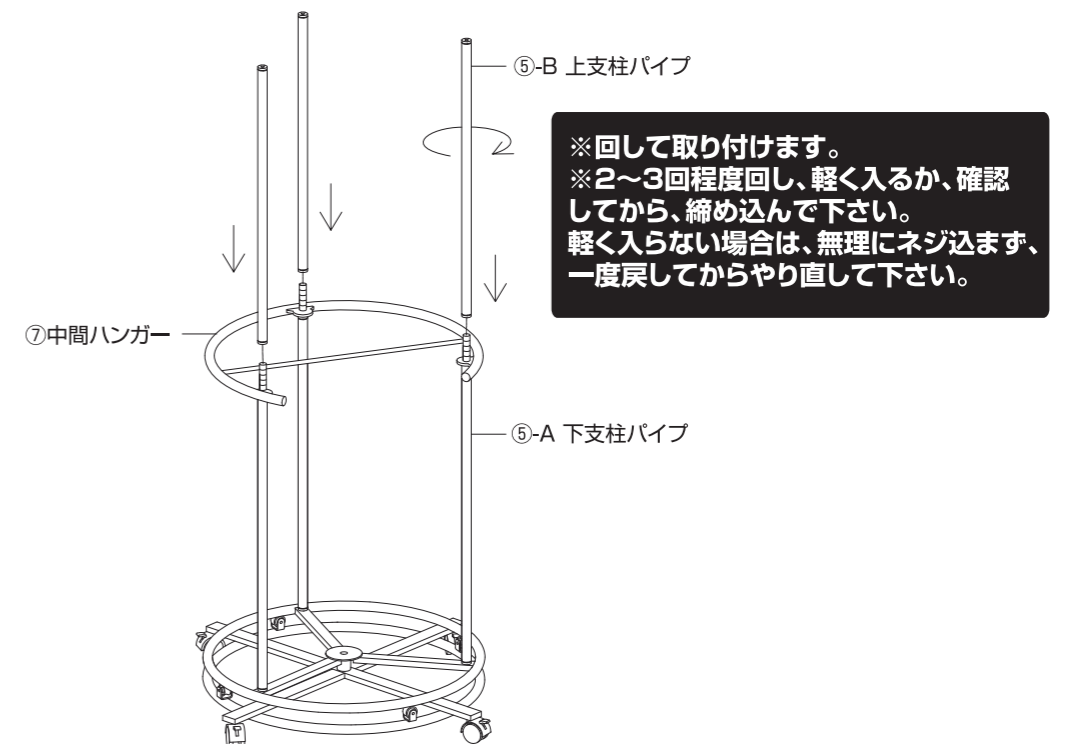
- 1** ベース裏側にキャスターを取り付けます。  
 (詳細は後述の「回転ベースにキャスターを取り付ける方法」を参照して下さい。)  
 次にブルーの袋に入っている下支柱パイプを下図の様にボルト3本にワッシャを入れ、  
 ベースの裏側からボルトをレンチで強く締めます。



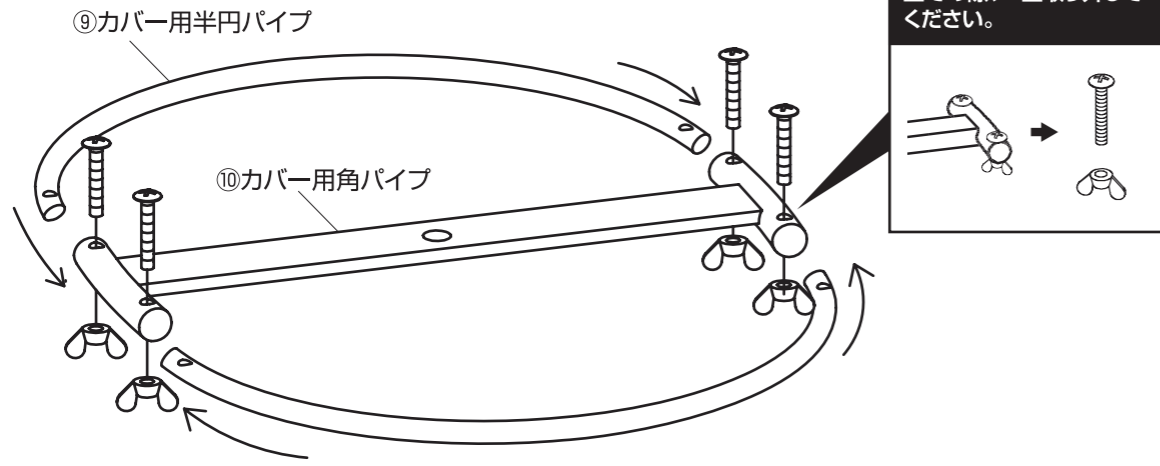
- 2** **1**で仕上げた下支柱に、下図の様に中間ハンガーに差し込みます。



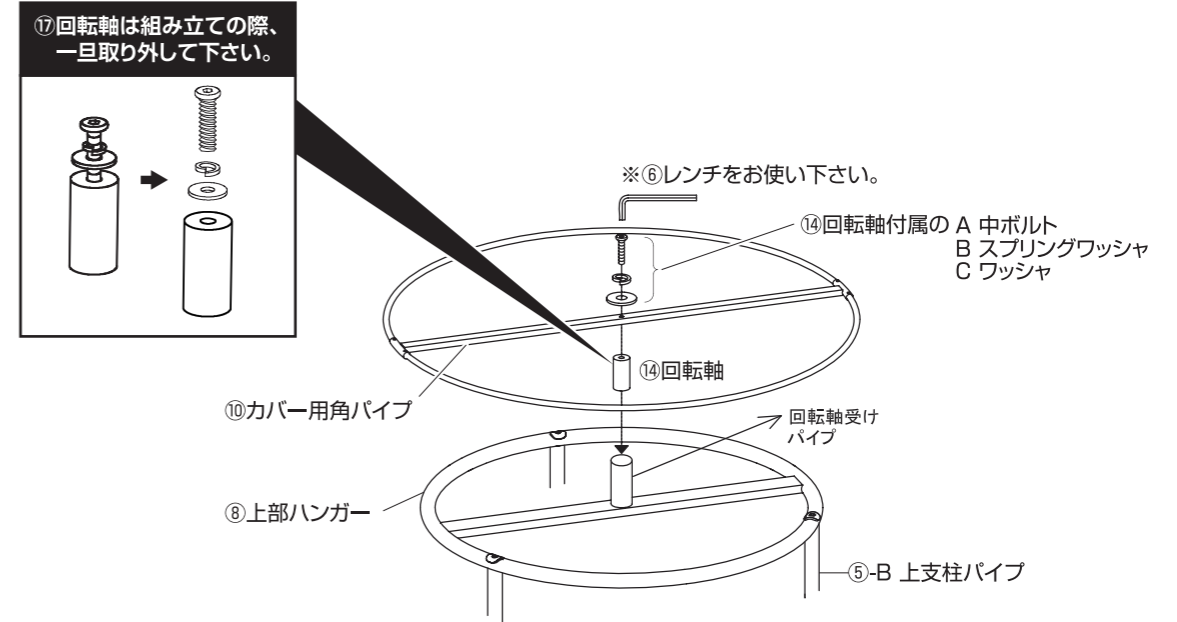
- 3** 中間ハンガーの上に出ているボルトに、上支柱3本を取り付けてください。



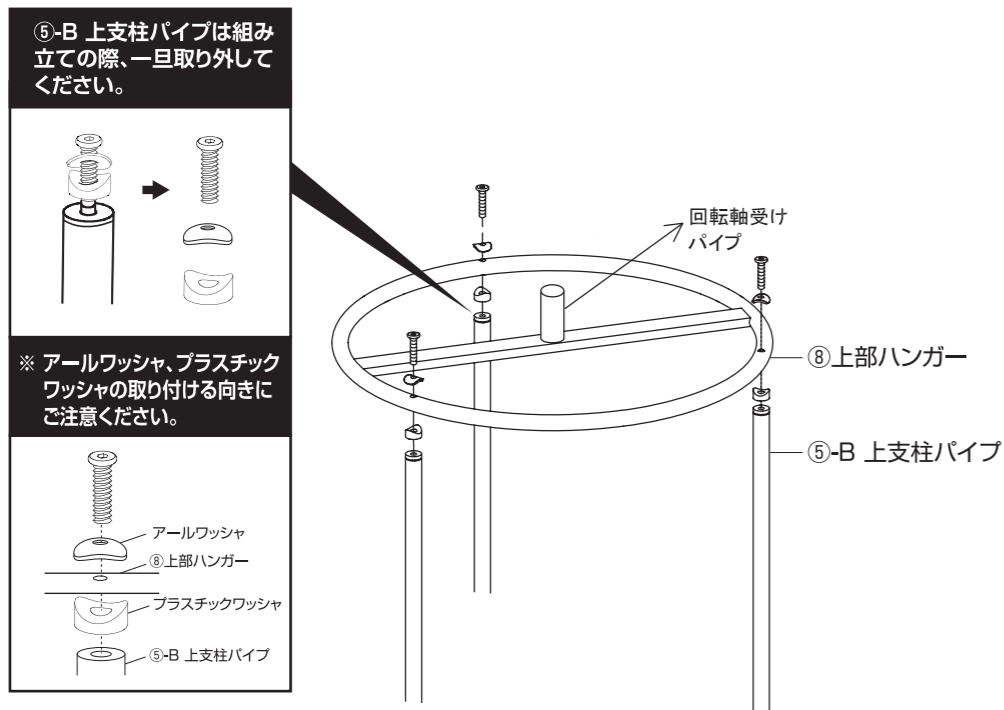
**4** カバー用半円パイプをカバー用角パイプの両端に差し込み、穴を合わせて小ボルトと蝶ナットで取り付けて下さい。



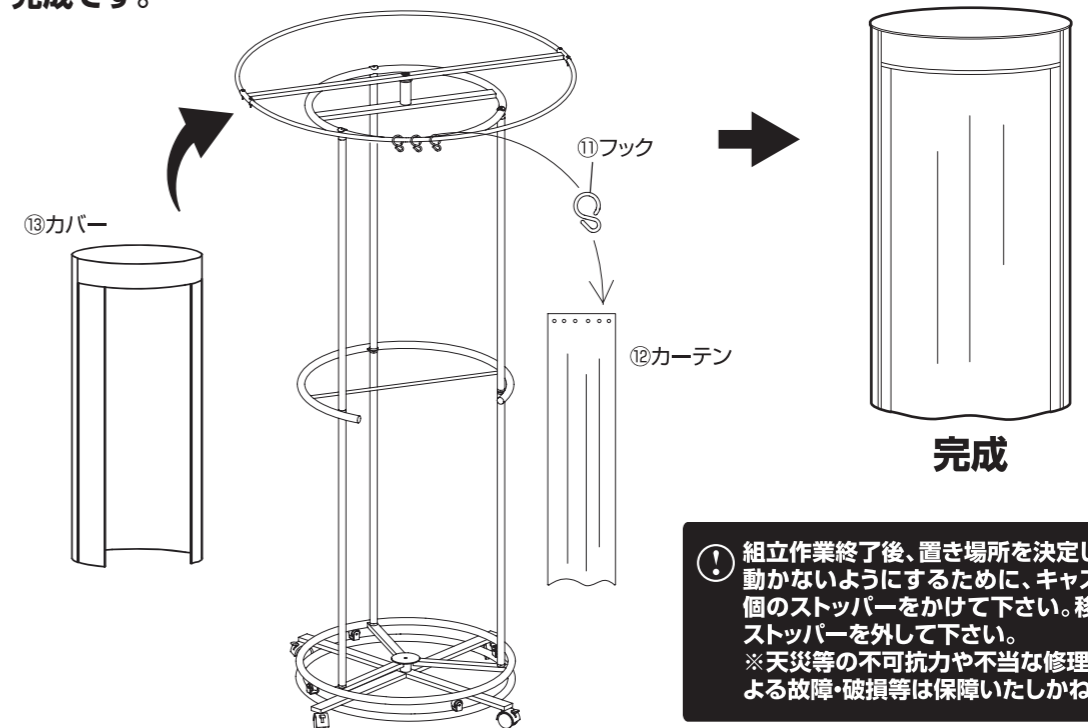
**6** 回転軸を下図の様に分解し、**4**で組み立てたカバー用角パイプに取り付けた後**5**で組み立てたハンガー本体の回転軸受けに差し込んで下さい。



**5** **3**で仕上げた上支柱の上に、上部ハンガーを下図の様に取り付けて下さい。



**7** 各部ボルトを本締めした後、本体フレームを少し横に倒してカバーを本体にかぶせて下さい。次にフックをカーテンの穴に通してからカバー用半円パイプにかけて完成です。



⚠ 組立作業終了後、置き場所を決定してから動かないようにするために、キャスター4個のストッパーをかけて下さい。移動時はストッパーを外して下さい。  
※天災等の不可抗力や不当な修理・改造による故障・破損等は保障いたしかねます。

## 取扱説明書(ハンガー商品)保存用

この度は当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。この取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

### 回転の固い緩いの調節説明

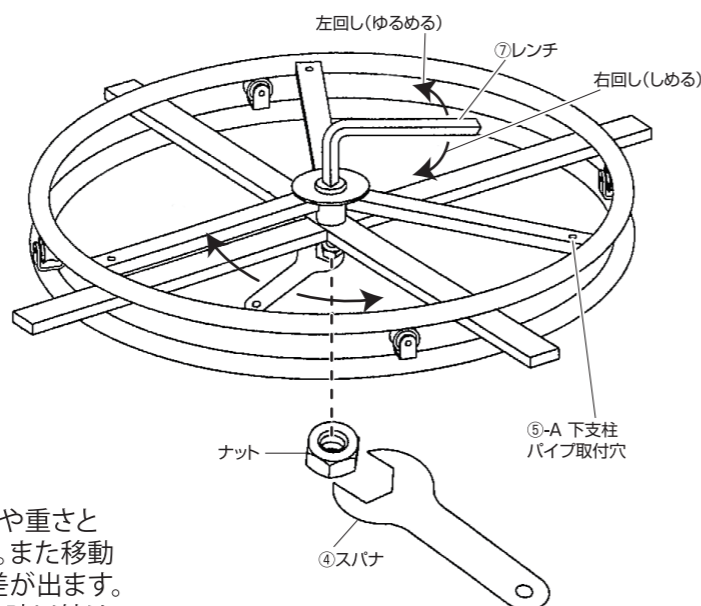
#### 回りが固い場合

回転が固い場合は右図の様に片方の手でスパナをベースの裏側に付いているナットにはめ、もう片方の手でレンチをボルトに差し込み左回りに少しづつ回して、回転が軽くなるのを確認しながら調整して下さい。

#### 回りが緩い場合

上記と反対に回りが緩い場合は反対にボルトを右回りに少しづつ回して、回転が硬くなる様に調整して下さい。

※回転の固い、緩いは掛ける着物の量や重さと掛け方によって多少の差が出てきます。また移動の場合も床(板床、畳、マット)によって差が出ます。4個のストッパー付きキャスターは移動時以外はストッパーをかけ動かない様にして下さい。



### 回転ベースにキャスターを取り付ける方法

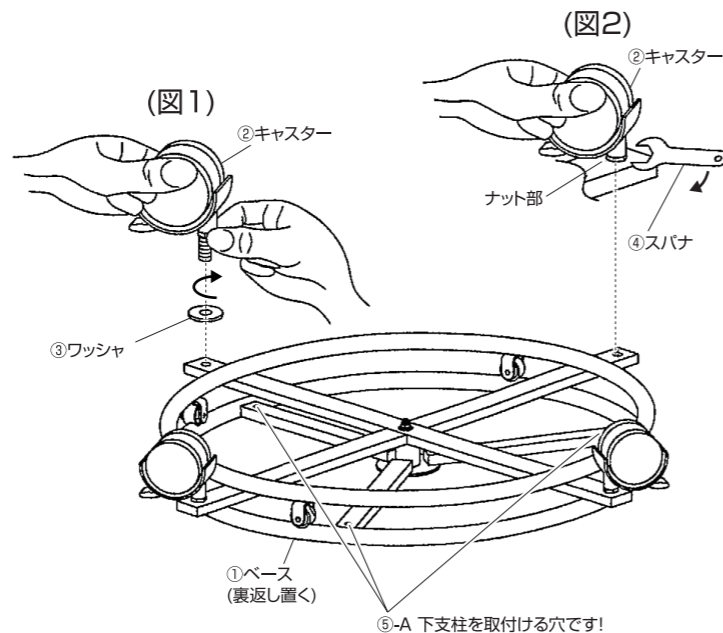
右図の様に先づベースを裏返して置き、ワッシャをベースのキャスター取付用穴の上に置いておきます。

次に(図1)の様にキャスターを片方の手で持ち、もう片方の手でキャスターのナット部を持って、先に置いたワッシャを通して、ベースのキャスター取付用穴に直角に立て、ナット部を手で軽く右に回してネジ込みます。

この時、軽く入っていない場合は無理にネジ込まないで、もう一度もどして直角に立っているか注意しながら再度ナット部を軽く回して4個のキャスターをネジ込んで下さい。

各4個のキャスターを手で回し仮締めして、最後にスパナで(図2)の様に本締めして強く締めます。

※キャスター取付穴と下支柱取付穴を間違いのない様に!



### 1. ご使用にあたって

<b>警告</b>	ハンガーポールにぶら下がったり、ひも等を結びつけたりしないでください。また本体にもたれかかたりしないでください。転倒や、ケガの恐れがあります。
	お子様が乗ったり、押したり、遊んだりしないように注意してください。ケガや破損の恐れがあります。
	各部の組立がきちりなされていることを確かめてご使用ください。不十分な組立で、使用中製品が破損・転倒し、ケガや周りの物を破損する恐れがあります。
	物に乗せたまま本体を移動させる場合、ゆっくりと行ってください。急な移動をすると、本体の破損や、本体の上の物が落下する恐れがあります。
	水平を保てる場所に設置し、ご使用ください。転倒や大ケガをする恐れがあります。
<b>注意</b>	危険ですので棚板にぶら下がったり、本体にもたれかかたり余分な力を加えないでください。
	棚板付製品の場合、上段に硬い物、重たい物を置かないでください。また片寄った荷重をかけないでください。落下する危険があります。
	本製品は収納を目的とした商品ですので、それ以外の用途では使用しないでください。
	金属部は防サビ加工をしていますが、屋外・多湿の所で使用すると錆びる恐れがあります。
<b>注意</b>	収納部より、幅、奥行、高さが大きい物を無理して押し込まないでください。棚板等が外れ、落下する危険があります。
	キャスター付商品の場合、畳やフローリング等が傷つく場合がありますので、敷物等で傷が付かない様に床面を保護してください。
	設置の時、ロック付キャスターのものは必ずロックし、移動時は解除して使用してください。

### 2. 家具の置き方

<b>警告</b>	ストーブなどの火気の近くに設置しないでください。本体や収納物の加熱、火災の原因になります。
	床面の平らな場所に水平になるように設置してください。転倒や商品の変形の原因になります。
<b>注意</b>	直射日光が当たる場所や高温多湿の場所などでは、使用しないでください。商品の変形、変色、カビ等の原因になります。
	床面がフローリングや畳などの場合はカーペット類を使用して床面の保護を行って下さい。

### 3. 保守・点検

<b>注意</b>	ボルト・ネジ類は、その取付けが確実かどうか、時々点検してください。
	本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。アルコールや磨き粉等は使用しないでください。
	天災等の不可抗力やお客様のお取扱いの不注意、不当な修理・改造による故障、破損等は保証致しかねます。
	廃棄にあたっては住居地域の処理法に基づいてください。